

「PCR 検査の拡充は必要なことと認識」しているのに……鎌ヶ谷市はどうして国がすすめていることもやらないのか？

新型コロナのワクチンが世界各国で開発され接種も始まっていますが、まだまだその安全性や効力に不安もあります。1日4000人以上の新たな感染者が発症しており、感染拡大をどう防ぐのか？どう抑圧するのが重要な課題です。

11/26付けで478名の署名をもって“①PCR検査を拡充して欲しい②医療機関・高齢者・福祉施設の従事者にも事前に検査して欲しい③基礎疾患のある人に対しても検査ができるようにしてほしい④社会的検査も出来るように”と要望書を提出しました。

鎌ヶ谷市は12月議会で「高齢者施設の入所者に対するPCR検査(希望者に)について2万円の助成する」ため1377万円(対象者500人)の補正予算を成立させました。

国の事業を使っただけの第一歩を踏み出しました。しかしそれ以外の基礎疾患のある人や施設の従事者へのPCR検査については一般質問の答弁でも一切「NO!」「やりません」と答えるだけです。

周辺市松戸市や市川市では高齢者全員あるいは施設の従事者に対してもPCR検査の助成を開始しています。

12/28付けで清水市長から「11/26の要望書」への回答がありました。

基本的には「国の県の動向を注視する」と言うだけ。しかも「国が高齢者施設での自費検査への補助を始めた」「新たな検査体制の整備」(インフルエンザ対応として“診療・検査医療機関”等発熱外来医療機関を鎌ヶ谷医師会等が2病院6診療所の協力)「PCR検査を(習志野)保健所が実施している」と国と県の動向を伝えるだけで、鎌ヶ谷市としての“PCR検査拡充のための施策・方向性”についてはまったく回答なし(12議会と同じ)。

それどころか相変わらず“PCR検査は1日に出来る数に限りがある。専門職が必要。”と言い“発症前から検査する体制がないので世田谷区のように出来ません”とこれ以上体制を整えることを考えていないことが明らかに。国や県が検査拡充しようとしている事業すら鎌ヶ谷市では実現できていない現実への反省もないようです。

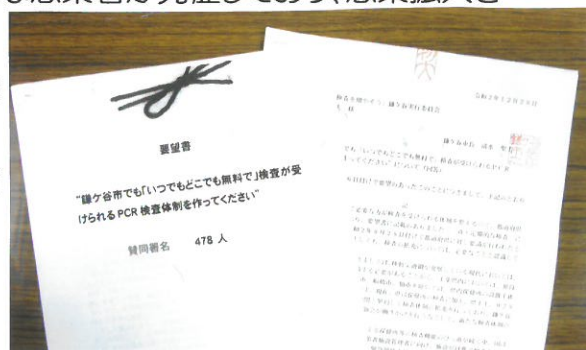
これでは鎌ヶ谷市民の命・健康・生活を守れません。

《PCR検査拡充要望への清水市長の回答(12/28)の問題点》

○回答では“PCR検査の拡充については必要なことと認識している”と

:必要とはクラスターつぶしのためにPCR検査で確認なのか？無症状感染者の絞込みのためのPCR検査なのか？施設従事者への事前の検査も必要と考えているのか？どのように必要なのかははっきりしない。検査の重要性が解かっていないのでは？

○“行政検査の体制整備につきましては……市町村でなく広域で整備する必要がある”“保



健所の設置主体である県が権限を有している”と回答

:何故広域でなければならぬのか?保健所を中心に行政検査をしている体制があるから保健所の設置されていない市町村は県の保健所によっているだけのこと。しかも保健所の数が1991年852箇所から2019年472箇所に減ったことの問題点をどう考えているのか?

鎌ヶ谷市は習志野保健所にPCR検査拡充のためどのように要請したのか?鎌ヶ谷市としては拡充しようと考えたのか、考えなかったのかわからない回答です。

○“国は2020年11/30付けで高齢者施設管理者に向け、施設が自費で検査したとき「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の対象とするとした”と回答、

:鎌ヶ谷市内の高齢者施設・障害者支援施設でこの制度を利用した施設は?検討している施設は?まったくわからない回答です。この点について国の施策を書いてあるだけで鎌ヶ谷市がどう対応しようとしたのか、施設と協議したのかまったく明らかでない???

○要望①②への回答として“(習志野)保健所が必要な検査を実施している”と

:習志野保健所では感染症状の出していない状況下で無症状者や施設のスタッフへのPCR検査をやっているとは思えないのだが?千葉県健康福祉部の回答では「濃厚接触者+接触者への検査はしているがそれ以上は保健所の判断。疫学的に意味がないと思ったら検査しない」です。県の対応に任せるだけでいいのだろうか?「さつまの里」「アヴィラージュ新鎌ヶ谷」でクラスターが発生してしまったのに鎌ヶ谷市の方針が見えてこない回答です。

○“市内の医療機関と連携し・・・新たな検査体制整備が進みつつある”との回答

:インフルエンザ対応としての“かかりつけ医などでの発熱外来・検査体制”のこのようです。「診療・検査医療機関等」として2病院6診療所が県に医師会等から提示されているようですが、検査能力がどう拡充されたのか明らかにされていません。鎌ヶ谷市として努力していると言うのならこれで十分な検査体制なのか、どのくらい検査体制が必要なのかを市民に説明すべきです。まったく語られていません。

○要望③への回答として“施設に入所する65歳以上の方へのPCR検査体制を整備”と

:施設で働く従事者に対してはまったく考えていないのはおかしい。クラスターを避けません。又高齢者と言うなら松戸・市川市のように65歳以上全員を対象とすべきです。基礎疾患者も国の事業(上限2万円助成)では対象になっているのになぜか鎌ヶ谷市では対象事業になっていない。変ですねえ～

○社会的検査も必要という要望④に対する回答では“発熱等の症状がある場合に検査を受けていただく”と

:無症状者にはPCR検査しないとする世界で最も検査をしない国「日本モデル」に固執しているようです。「無症状感染者を絞り込み精密医療で感染拡大を防ぐ」といったこの1年間で明らかになった新型コロナウイルスへの対応の基本的考えを理解していないのが残念です。

○“世田谷区のように保健所を有していないので検査を幅広く行えない”との回答

:松戸市も市の保健所がありませんが高齢者だけでなく保育所・学童・教育・高齢者施設・障害者施設などの従事者へのPCR検査への助成を始めています。市長の検査への熱意・姿勢の違いなのでしょう。

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

*活動報告HPに掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。